

平成28年度 議会傍聴者数

定例会名	内容	人数
第2回(6月)定例会	本会議	75人
	常任委員会	1人
第3回(9月)定例会	本会議	95人
	常任委員会	0人
	決算特別委員会	36人
第4回(12月)定例会	本会議	53人
	常任委員会	1人
第1回(平成29.3月)定例会	本会議	78人
	常任委員会	0人
	予算特別委員会	48人
合計		387人

医療体制の整備

済生会病院に対する財政支援の考え方は

答弁：基金のほか、地方債の活用も一つの手法であります。財源バランス全体を見ながら対応していく必要があると考えております。

小坂 徳蔵 議員

小坂 済生会病院が本館新築を急いでいる思いが伝わってくる中で、市として具体的な準備をぬかりなく行っておく必要があり。重要なことは、「財政支援によって、現行の行政サービスに影響を及ぼさないこと」、「公的病院に対する財政支援に充当率75%の起債を活用すること」、「財政支援は病院誘致の恩恵を享受する後年度の市民も行政の公平性の原則から負担すること」この3点であると思いますが、考えをお伺いします。

市長 積み立てた医療体制確保基金30億円のさらなる上乗せ分の確保について、地方債の活用というご提案がございました。これも一つの手法であると考えておりますが、私は、市の財政運営の基本姿勢である収支の均衡、債務残高の圧縮、将来への備えの基本姿勢は崩すべきでないと考えております。それらを念頭に、財源バランス全体を見ながら対応していく必要があると考えております。その際には、当然ですが議会にご相談申し上げなければならぬと考えているところであります。

議案に対する討論

本会議において、採決の前に、議案に対する討論が行われました。討論の一部を掲載いたします。

平成29年度一般会計当初予算

反対討論

新年度予算を詳細に分析し、かつ審議を通して市民の利益を守る立場から、到底容認できない問題があります。

第一に一番に祝福すべき長寿になられた白寿と百寿の敬老祝い金を半額に減らすなど、敬老祝い金を大幅に減額していること。第二に小・中学校にエアコンを設置する予算措置がないこと。第三に木造住宅耐震化補助が県内40市の中で最低水準にあること。第四に個人番号制度、マイナンバー

賛成討論

にかかわる問題です。とりわけ、個人番号を使う住民票のコンビニ交付は、費用対効果を一切無視して実施しておりません。第五に失敗が明白になった野中地区の開発に新たに17億円もの税金を投入すること。第六に同和事業の継続など容認できない問題について指摘し、本案に反対するものです。

合併から間もなく7年が経過し、市民と協働による新市の土台づくりも順調に進んできました。こうした中、平成29年度予算は少子高齢化の進展による人口の構造の変化等を考慮し、移住・定住促進などの人口減少対策、済生会病院の誘致をはじめとした今後の医療体制の確保、社会保障制度の問題や公共施設の適正管理、インフラの老朽化対策等、新たな課題へ対応する予算となっております。また、第二次加須市行政経営プランに基づき、行財政改革と財政健全化をさらに推進するため、収支の均衡、債務残高の圧縮、将来への備えの三つを財政運営の基本姿勢としております。

この予算が、「協働による人も地域も元氣な加須市づくり」を推進し、将来都市像である「水と緑と文化の調和した元氣都市かぞ」の実現を強く推進する予算であると確信し、賛成といたします。

